

2023年版

 JAグループ石川は

持続可能な地域農業・地域社会の実現に向けて

# SDGs

に取り組んでいます！



 JAグループ石川

# SDGsとは?

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals=SDGs)」の略称です。

国連により定められ、2016年から2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際的な取組目標であり、「誰一人取り残さない」を基本理念としています。

その内容は、「17の目標 (ゴール)」と、その目標を達成するための「169のターゲット」で構成されています。

## JAグループ石川のSDGs



- ① 持続可能な地域農業の確立に向けた、次世代後継者の確保や経営基盤・農地の維持・確立
- ② 農家の手取り最大化や農業生産基盤の安定化に向けた農業者の支援
- ③ 県産農畜産物の安定生産、販売体制の構築に向けた生産振興や戦略的な販売体制構築、地産地消の促進
- ④ 営農指導体制の確立・実践強化に向けた人材育成やデジタル技術の活用

## JAグループ石川がSDGsに取り組む意義

### 協同組合の視点

JAグループ石川は、協同組合であるJAと、JAが会員となり運営する中央会、連合会および関連組織で構成されるグループの総称です。

協同組合は「誰一人取り残さない」を基本理念に掲げるSDGsと深く関わりがあり、SDGsの実現にあたって重要な役割を担う民間セクターに位置付けられています。

JAグループ石川は、組合員の共同の利益の実現に向けた事業・活動を通じ、地域にお住いの方の食や暮らしに貢献する視点から、SDGsに取り組んでいます。

### 持続可能な食と地域社会づくりの視点

JAグループでは、急速な農業者の減少や高齢化による農業生産基盤の弱体化等の環境変化に対して、「持続可能な農と地域づくり」を提案し、「食料安全保障」の観点から政策の確立や国民理解の浸透を目指しています。

JAグループ石川では、県内農業・社会を持続可能とするため、「農業」「暮らし・地域」の分野で事業・活動を行っています。

### 実践事項



- ① 多様な組合員の運営参画の促進
- ② 青年・女性の活躍促進に向け、仲間づくりの場の魅力向上や新規加入者の参加による組織の活性化
- ③ 新規加入者や次世代を担う組合員に向けた組合員学習の実践
- ④ 生活インフラの提供や地域組織の活動支援や連携による地域の活性化

## 市内施設への農産物寄贈

### JA加賀

加賀農業青年グループとJA加賀は新型コロナウイルスが感染拡大している中、少しでも助けになればという思いで医療施設や福祉施設へ野菜を寄贈しています。農産物は全て前日に収穫された新鮮なものが用意され、美味しい農産物を食べて元気に過ごしてほしいという思いが込められています。



## 女性農業者「あんにやま♥ファーマーズ」



### JA小松市

圃場見学や研修会、農産物販売に向けたPOP講習会、マルシェを開催し、女性農業者の交流とスキルアップを目指しています。



## 主婦大学の開催

### JA根上

女性部員の教育や意識改革、部員同士の接点や意識の共有を図ることを目的として、講師を招いての主婦大学を開催しています。



## 地元河川の除草清掃作業



### JA能美

地域の景観と、生息している絶滅危惧生物（トミヨ）の保全のため、職員総出により、地元河川（熊田川：本店近辺）の除草清掃を定期的に行っています。



## 知って納得! 食品添加物講習会

### JA白山

主婦層を対象に食品添加物の種類と使用目的、安全性の説明があり、実際の商品を使って安全性の高い食品添加物のみ使用しているエコーブマーク品と市販品の比較実験や食べ比べを行いました。

3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



## 農業の低コスト化に向けた研修会

### JA松任

増収・低コスト・省力化に向けた新たな栽培技術の普及拡大を目指し、ドローンの実演会を開催しています。

4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



## 園児たちに地場産花をプレゼント



### JAののいち

野々市産のエアリーフローラを卒園児たちに贈呈し、地区内の農業・農産物の魅力を発信しています。

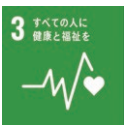


## JA・青壮年部・女性部合同フードドライブ



### JA金沢中央

JA役職員および利用客、青女部員に家で眠る余剰食材を募り、管内のフードバンクや子ども食堂等に寄贈。女性部員の声がかきかけとなりはじまった活動が、賛同者が増えたことで令和2年度からは3者合同実施に。



## 掘り手塾

### JA金沢市

J A金沢市筍部会では、筍の掘り手不足解消のため、掘り手塾を提案し、掘り手の育成・筍の生産継続につなげました。



## 移動交番の開設

### JA石川かほく

特殊詐欺被害を未然に防止するため、警察本部と連携し移動交番を開設しました。





## 規格外大根の有効活用



### JAはくい

食品ロスの削減、農家所得向上と作業負担軽減のため、生産者が持ち帰り、自家消費や処分をしていた規格外ダイコンを切り干し大根に加工・販売する取り組みをしています。



2 削減を  
ゼロに



12 つくる責任  
つかう責任



## 学校給食への食材（能登志賀ころ柿）提供



### JA志賀

地産地消の促進、食育活動として町内の学生に対して、町を通じて給食の食材として提供しました。



4 質の高い教育を  
みんなに



12 つくる責任  
つかう責任



## 食育活動

### JA能登わかば

次世代を担う子供たちとその保護者に食への関心や興味をもってもらうため、「わかばキッズクラブ」管内の小学生親子を対象に野菜等の収穫体験を開催しています。



## Aコープ無料バスの運行

### JAおおぞら

買い物難民の解消のため、移動手段のない方に向けたAコープ行きの買い物バスを運行しています。



## 節電対策グリーンカーテン

### JA内浦町

夏季の節電対策として、アサガオを用いたグリーンカーテンを作りました。

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



## 食農教育

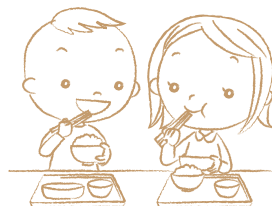
### JAすずし

食農教育活動として、特産品目の「珠洲産かぼちゃ」を通じ、小学生に食と農のつながりや、その大切さを伝えています。

4 質の高い教育を  
みんなに



15 陸の豊かさも  
守ろう



# 自己改革の新たなステージへ

組合員の声に基づく  
「不断の自己改革によるさらなる進化」



 JAグループ石川